

市長からのメッセージ
【こちら市長執務室】



職員派遣報告会

4月22日から25日まで熊本県南阿蘇村に派遣した職員から、帰還報告を受けました。現地の状況や避難所運営のようすなどを詳しく聞き、今後支援を続けることを確認しました。



丹波市長 辻 重五郎

東日本大震災の3回しか経験していない非常に強い揺れです。さらに、度重なる余震による大きな被害の情報を受け、4月18日に熊本地震対応のため緊急部長会議を開催しました。会議では、救援物資の輸送や職員の派遣など災害支援について検討しました。

4月19日には、関西広域連合の要請を受け、熊本県益城町への職員派遣を申し出ました。4月26日に、熊本県益城町の避難所運営のため2人を派遣、5月6日には家

「テーマ」「熊本地震」への災害支援について

今回の災害支援は、平成26年の豪雨災害時の経験を役立てたい、県内外の多くの自治体から物心両面に支援をいただいたことへの恩返しをしたいという思いが強く働きました。

帰還した職員の報告を聞きまずと、避難所での支援活動が主なものでした。被災地の自治体は元々職員数が少なく、災害の対応のために行行政機能がうまく働いていないようでした。避難所では、丹波市の職員として、少しでも役に立

去る4月14日午後9時26分ごろ、熊本県熊本地方を震源とする震度7の地震が発生しました。続く16日午前1時25分ごろにも同地方を震源とする震度7の地震が発生しました。

地震でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方、ご家族・関係者のみなさまに心からお見舞い申し上げます。

震度7を観測した今回の地震は、阪神淡路大震災、新潟県中越地震、

屋被害調査のため、家屋被害認定士の資格をもつ職員4人を派遣しました。

また、4月22日未明には総務省から兵庫県に対し、熊本県南阿蘇村への派遣要請があり、同日午後には職員2人を現地避難所運営のため派遣しました。

一方、市消防本部は4月17日、緊急消防援助隊兵庫県隊として救急隊1隊（救急車1台、隊員3人）を熊本市東区へ派遣。現在までに2隊6人が任務に就きました。

てるよう被災者に寄り添い活動し、避難されている方々から「遠くからありがとう」と感謝の言葉をいただいたと聞きました。派遣した職員は、丹波市民のみなさんの想いも熊本の方に伝えてくれたのではないかと思います。

今後は、被災地のみなさんの心のケアも大切です。必要であれば保健師の派遣などにも対応したいと考えております。

「心と心をつなぐ」大切さを痛感し、一日も早い復旧・復興を祈念するとともに、義援金をはじめ市民のみなさんのご協力をお願いします。



medical
医療

地域医療の充実・発展
をめざして施策を進めます。

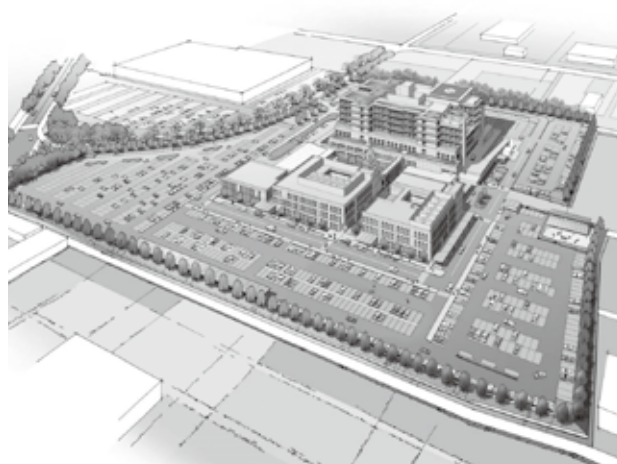
地域医療の中核施設！

☎地域医療課（氷上保健センター内） ☎ 82 - 4567

丹波市地域医療総合支援センター（仮称）
丹波市立看護専門学校
基本設計まとまる！

県立柏原病院と柏原赤十字病院の統合再編に伴い、整備を進めている「丹波市地域医療総合支援センター（仮称）」と「丹波市立看護専門学校」の基本設計がまとまりました。平成30年度開設をめざし、工事が始まります。

同センターは医療の提供とともに、地域包括ケアシステムの中核的な役割や地域医療を担う人材の育成など、地域医療の発展を担う施設です。また、看護専門学校は、学生の主な実習先である病院の移転建て替えに合わせて、新病院と同じ敷地に新しく整備し、教育の充実を図ります。



新病院、丹波市地域医療総合支援センター（仮称）および丹波市立看護専門学校のイメージ図

■建設場所

丹波市氷上町石生（氷上工業団地内）
敷地面積 約 54,000 ㎡

■施設構造の概要

- ①丹波市地域医療総合支援センター（仮称）
鉄骨造 地上3階・塔屋※1階、延床面積 約 5,300 ㎡
- ②丹波市立看護専門学校
鉄骨造 地上3階・塔屋※1階、延床面積 約 3,500 ㎡
※塔屋…エレベーターの機械室などに利用される建物の屋上に突き出した部分。

■概算事業費

- ①丹波市地域医療総合支援センター（仮称）
約 23.4 億円（建設費、医療機器整備費、用地費など含む）
- ②丹波市立看護専門学校
約 16.1 億円（建設費、設備・備品費、用地費など含む）

■整備スケジュール

建設工事着工 / 平成 28 年度予定
各施設開設 / 平成 30 年度予定

■各施設の概要と主な機能

医療・保健・福祉の機能を備えた、地域包括ケアシステムや医療と福祉の機能を活かした防災の拠点として機能する施設

▼丹波市地域医療総合支援センター（仮称）

- ① 総合診療センター（仮称）
診療所、健診、訪問看護機能
- ② 休日夜間応急診療センター（仮称）
1 次救急機能
- ③ 保健センター（仮称）
健康啓発、疾病予防、母子保健機能
- ④ 福祉センター（仮称）
地域包括支援、子ども発達支援機能

▼丹波市立看護専門学校

保健医療福祉の分野で地域に貢献できる看護実践者の育成
設置学科 / 看護学科
修業年限 / 3 年、入学定員 40 人（総定員 120 人）

▼その他の付帯施設

健康広場・中庭・駐車場・ロータリー
災害活動支援スペース機能、浸水対策機能、交流スペース機能